



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 財務部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

営業外費用の発生及び平成 30 年 3 月期第 2 四半期業績予想と
実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、営業外費用を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用の発生

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において当社の持分法適用関連会社である JAPAN 3D DEVICES 株式会社に対する投資持分につき 20 百万円の営業外費用(持分法による投資損失)を計上いたしました。

3. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,814	百万円 23	百万円 △54	百万円 △58	円 銭 △3.00
実 績 値 (B)	2,924	88	42	33	1.72
増 減 額 (B-A)	110	65	96	91	
増 減 率 (%)	3.9	286.8	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	2,601	24	△47	△102	△5.43

差異の理由

反射鏡及びフライアイレンズの受注が好調だったため、営業利益は予想を 65 百万円上回りました。

シンジケートローン契約(コミットメント期間付タームローン)は平成 29 年 9 月に予定通り締結できましたが、借入の実行は平成 29 年 10 月以後となったことなどにより営業外費用に含まれる金融費用は予想より減少いたしました。これらのことにより、経常利益は予想を 96 百万円上回り、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を 91 百万円上回りました。

なお、平成 29 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想に変更はありません。

以上